

# 令和6年度第3回交通会議議事要旨 (令和7年2月18日)

令和7年4月14日

南城市地域公共交通会議

# 1. 議事次第

## 令和6年度 第3回南城市地域公共交通会議

日時：令和7年2月18日（火）10：00～

場所：南城市役所1階保健センター

### 次 第

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 報告

(1) 第2回会議の議事報告について・・・資料①

(2) 南城市地域公共交通計画策定調査業務の事業内容変更について・・・資料②

4. 議事

(1) 南城市地域公共交通計画策定に向けた調査結果について

・・・・・・資料③、資料④、資料⑤

(2) Nバスの運行見直し（案）について・・・資料⑥、資料⑦

5. その他

①令和7年第1回南城市地域公共交通会議の日程について

（予定）令和7年4月30日（水）14時～16時

（配布資料一覧）

資料①・・・第2回会議議事要旨

資料②・・・南城市地域公共交通計画策定調査業務の事業内容変更

資料③・・・" の調査結果（市民アンケート）

資料④・・・" の調査結果（小中高生アンケート）

資料⑤・・・" の調査結果（先進事例視察）

資料⑥・・・Nバスの運行見直し（案）

資料⑦・・・南城市地域公共交通再編実施計画の見直し（案）

## 2.報告概要

### 2-1.令和6年度第3回会議(8/30開催)の議事報告について

質疑なし

### 2-2.南城市地域公共交通計画策定調査結果の事業内容変更について

質疑なし

## 3.議事概要

### 3-1.南城市地域公共交通計画策定に向けた調査結果について

番号	委員	事務局
1-1	<p>アンケートを色々と実施しているが、変化を見てほしいと思う。例えばNバスやおでかけなんじいの事業を実際に実施してきていて、導入前にも様々な調査を行ってきていると思うが、その時と比較して、高齢者の外出頻度が増えている、免許返納の方が増えているなどの効果が見えるような分析をしていただきたい。高齢者の外出に関しては全国的には増えている。理由として、高齢者の定年延長が増えていることがあげられる。仕事を辞めた方の市内でのバスの外出頻度がバスの総運行距離に占める割合の推移を整理するなど効果がみえるように分析をしていただきたい。</p> <p>(神谷副会長)</p>	<p>アドバイスを踏まえ、効果がみえるような分析を行う。</p>
1-2	<p>41頁でバスの減便の影響についてだが、週に1回以上バスに乗っている人などに限定して集計した方がよいのではないか。バスに全く乗らない人の結果が反映されているため、乗っている人に対してどういう影響が出ているのかということも分析して頂ければと思う。</p> <p>(神谷副会長)</p>	<p>路線バスを利用している方への影響を把握するなど、設問に応じて適切に分析を行うようにする。</p>

番号	委員	事務局
1-3	<p>小中高校生のアンケートは回収率が低く、残念である。これだけの人数が車を利用していることもそうだが、県で分析しているパーソントリップ調査についても、公共交通利用率についてはあまり変化が無いが、歩く機会が減っている。公共交通の枠組みだけではなく、他の部署との連携ということも含め、歩いてバス停まで行ってもらような施策が必要になる。回収率が低いということで、教員にあまり協力してもらっていないのではという印象を持つ。教育委員会や福祉関係などの他の部署も含めて、歩くということに関して市で出来そうなことがあればご検討いただければと思う。ただし校門の開門時間に関して、早すぎると困るという意見に対しては調整が必要かもしれない。</p> <p>(神谷副会長)</p>	<p>健康面については事務局でも感じているところである。視察で訪問した岐阜市では、交通と健康の視点で施策を色々行っており、事務局としても健康や福祉といった他分野との連携も計画に盛り込んでいきたいと考えている。教員の協力に関しては、教育委員会等と調整する際に、回収までお願いするのは教員への負担になるという話もあり、言いづらい部分もある。今回配布のお願いをしたが、WEBでの回答だったこともあり、こちらの想定より回収率が下がってしまった。回収率が上がらないことには実態の把握が困難になるため、信頼関係をしっかり構築できるようにしたい。</p>
1-4	<p>アンケートの結果を見て大変興味深いと思った。路線バスのアンケート結果と実際の実績が合っていると思う。日中には利用者が少なく、通勤通学には使われている。</p> <p>Nバスの方に関しては、30頁に地域別の利用者の割合が入っているがこちらが実際の状況と比較してどういった状況だったかが気になった。</p> <p>(屋宜委員)</p>	<p>アンケート結果と実態については照合しておらず、今後、分析してまとめていきたい。</p> <p>⇒今後、令和6年度のNバスの利用データを整理し、地域別に分析を行う。</p>
1-5	<p>南城市地域公共交通計画策定に向けた調査結果について承認する。</p> <p>(委員全員)</p>	—

### 3-2.Nバスの運行見直し(案)について

番号	委員	事務局
2-1	<p>資料⑥の7頁では堀川入口バス停と志堅原公民館前バス停を廃止するということだが、D1系統については残すということか。</p> <p>(崎濱委員)</p>	<p>バス停自体は残る。C1、C2、D2の系統については通らなくなるが、D1系統は引き続き通るとのことである。</p>
2-2	<p>勘違いをする人もいると思うので、表現を見直して頂きたい。</p> <p>(崎濱委員)</p>	<p>修正をする。</p>

2-3	資料⑥の 9 頁ではダイヤの改善をすることだが、これは A2 の最終便に経由地を追加することによってよろしいか。 (崎濱委員)	A2 最終便に B3 夜便と統合することである。A2 の最終便のルートだけに変更になる。
2-4	資料⑦の 4 頁には C1 と C2 の記載があるが、これは一部路線が廃止されるような表現である。D1 という残す路線もあるためどうなのか。 (大城委員)	資料⑦については計画変更箇所を掲載している。C1、C2、D2 に関しては説明した通り、志堅原公民館前バス停と堀川入口バス停は利用しなくなるため、変更箇所として記載している。D1 系統は変更なしのため、計画見直し案の資料の中には掲載をしていない。
2-5	資料⑥の 7 頁、8 頁について、バス停が少なくなるということについては利用状況や代替のバス停を整理して計画を作っていることがわかるため、納得できるが、志堅原区と堀川区に関しては区長などと事前に調整をしているのか。今後どのように対応するのかお教えいただきたい。 (大城委員)	志堅原区と堀川区の区長には話をしており、個別で区民に説明などは行っていないが、データを見てもらったうえで説明をし、概ね了解をもらっている。バス停が減ることでは不便をかけるとは思うため、バス停や HP で早めの周知をしていきたい。
2-6	知念の小中学校の学校現場から、登校時の早い時間は先生が見ているようだが、働き方改革のこともあるため学校現場と N バスの運行等を含めもう少し調整できないかと思う。集団登校は難しいという言い方をしていたが、タイミングを決めてバス停に集まってもらい、集団でバスに乗ると決定すれば、利用率が上がるのではないかと検討していただけたらと思う。 (外間委員)	開門にバスを合わせることは出来ないかという話はあるものの、一つの系統にいくつも学校があり、調整が難しい。集団登校という話に関しては教育委員会と話をさせていただきたい。 本年度から MM 教育の一環として知念小学校でバスの利用を促す取り組みを進めているため、そのような取組も通じてバスの利用を促していきたい。行政だけでは出来ない部分もあると思う。地域も大変という話があったが、お互いが出来る所に関しては協力いただけないか。
2-7	N バスの運行見直し(案)について承認する。 (委員全員)	—

### 3-3. 沖縄バスの減便検討について

番号	委員	事務局
3-1	資料⑦再編実施計画の見直しの最終ページに幹線バスの事業費の負担が掲載してある。見直すのであれば出来るだけ早めに相談していただきたい。 (崎濱委員)	市としても沖縄バスから出せる範囲で情報をもらいながら事前に調整をしていきたいと思う。